

2022年度 信愛学舎舎生募集要項

目次

1. 信愛学舎とは	1
2. 信愛学舎の運営	2
3. 信愛学舎の活動	3
4. 施設・設備	6
5. 料金	6
6. アクセス	6
7. 募集及び応募概要	7
8. 入舎手続き	8
9. 書類送付先及びお問合せ	8

1. 信愛学舎とは

信愛学舎は早稲田大学YMCAを母体に1916年に誕生した学生自治寮です。以前は男子寮でしたが、グローバル化、女性の社会進出が望まれる現代に応じて2013年を機に男女共同寮になりました。

信愛学舎の舎生はYMCAの会員として信愛学舎に入舎することになります。

● 信愛学舎舎章

「それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る。その中で最も大いなるものは、愛である。」（1コリント13章13節）

● 信愛学舎創立の精神

「それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る。その中で最も大いなるものは、愛である。」（1コリント13章13節）

信仰とは、信頼や真実と訳すことが出来ます。また、希望とは「祈望」であり、この祈りに導かれた望みが愛を生み出します。「沈黙の実は祈り、祈りの実は信仰、信仰の実は愛、愛の実は奉仕、奉仕の実は平和。」深い内省と愛を具体化する行動。信愛学舎が土台とする信仰と希望と愛とは何か。聖書のことばとの対話と、共に活動し共に暮らす仲間との対話を通して、一度しかない人生でいつまでも残るものとは何か、共に考えを深めたいと願います。

● 信愛学舎の目的

学舎とは単なる寄宿舎ではありません。130年を超える早稲田大学YMCAの活動と理念を踏まえて行動し、学びを深めていく自己形成の場所です。

信愛学舎の舎生は、YMCA活動を担うことを通して深められた問題意識から、さらに学びを深めます。学舎での共同生活では、多様性のある人格を認め合い、言葉を用いて相互に意思疎通をはかり、信頼を深めていきます。

運営は、財団法人早稲田大学YMCAの責任と指導のもと、担当者と学生幹事が協力して行います。舎生は、全員一致の原則のもと礼節をもって真摯に対話と運営に参加することが求められます。

2. 信愛学舎の運営

● 舎生による自主的な運営

信愛学舎は学生自治寮です。したがって舎生の自律的な寮運営と活動が求められています。

また共同生活を担うものとして自分の役割に責任を持つこと。他者を気遣い対峙していくコミュニケーション能力を身につけていくことが求められます。

● 学生幹事制度

寮の活動を円滑に進めるため、学生幹事が主体となって寮を運営していきます。通常2年秋学期から3年春学期の1年間担います。学生幹事は通常寮長、副寮長、幹事長で構成されます。

- ・ 寮長：信愛学舎でリーダーを担います。その他舎生会の取り纏めや司会を行います。
- ・ 副寮長：寮長の補佐役を担います。会計や書類の管理・作成、理事との連絡を取ります。
- ・ 幹事長：YMC Aの幹事長として内外とのやりとりやサークル関係の書類作成管理を行います。

2022年度学生幹事	寮長	新里	来耶
	副寮長	伊藤	紫歩
	幹事長	寮長・副寮長が兼任	

● 信愛学舎運営理事

信愛学舎は公益財団法人早稲田大学YMC Aによって運営されています。理事会は運営の方針の議会を行うほか財産管理を担います。舎監は舎生の監督やY活動の提供を担います。

早稲田大学YMC A	理事	東條 隆進 (代表)
		宮坂 昭子
		本間 勝
		渡邊 規和
		李 明生

信愛学舎舎監	舎監	現状不在
--------	----	------

3. 信愛学舎の活動

信愛学舎はYMCAの理念に則りこれからの時代を担うグローバル人材を育成することが目標です。信愛での活動は原則として学業の次に優先されます。

ただし以下の場合には欠席が認められます。

- ・親族の危篤、病気、学校の授業、就職活動、教育実習、結婚式など。

上記以外の特別な事情で舎生会による承認を得た場合は欠席することができます。例えば部活動の大会等は認められる余地があります。

● 定期的な活動 ※参加必須

舎生会（月1回）

舎生会は学生幹事の進行の下、寮生活や寮行事、日程の調整などの話し合いが行われます。舎生会は信愛学舎の最高意志決定機関として機能します。従って舎生は積極的な発言が求められます。議決は全会一致で決定します。コミュニケーション能力や会議での発言の作法など舎生会を通してみにつくことは多いです。

朝活動（週3回）

月・火・木曜日の朝7：00、または、7：30から30分間、朝食、専門発表・聖書発表、週例を行っています。朝食は一人100円で、舎生が作るご飯を全員で囲みます。専門発表では自分の学んでいること、興味のあることを共有します。週例は、週に一度ある寮の会議です。

二人組の当番制で、これらの発表や朝食づくりを担当します。朝から互いにコミュニケーションが取れるので、一日の良いスタートが切れます。

聖書研究会（月1回）

月に一回学生の自由な発題の下、聖書研究が行われます。これまで、安楽死について、あなたにとって聖書とは、愛についてなど大きなテーマの下に学生の考えや意見を共有してきました。担当する学生の色が出る聖書研究になります。

●年間の活動予定 ※参加必須

入舎式（4月）

入舎式をもって信愛学舎の生活が始まります。信愛学舎舎生の他、理事やOB・OGも参加します。

3学舎交流会（5月）

友愛学舎や山手学舎など近隣のキリスト教学生寮とともにスポーツや食事などを通してそれぞれの寮の活動を紹介し合います。お互いに刺激し合い、交流のきっかけづくりの機会になっています。

合宿（夏休み）

学期期間からテーマを決め学習し、夏休みを利用し現地での学びの場を持ちます。近年では大阪の釜ヶ崎の日雇い労働者の現状について学びフィールドワークと炊き出しを行いました。

クリスマス会（12月）

理事やOB・OGをお呼びしてクリスマス礼拝をし、共に食事を囲む楽しい会です。信愛学舎舎生は料理を担当し、1年の活動報告をします。

面接 春入寮（1月～3月） 秋入寮（8月～9月）

入舎希望者に対して面接を行います。在舎生全員・理事参加のもと、面接が行われます。

卒舎式（2月～3月）

卒舎する4年生を送り、1年間の活動を締めくくります。理事・OB・OGも参加します。また、卒舎生追い出しコンパも行われます。

●学生による自主的な活動 ※任意参加

読書会 (月2回)

2019年1月より開催している自由参加型の勉強会です。月の前半は哲学・思想系の本を、後半は文学を読みます。毎回発表者を決めレジュメをきらせていますが基本、参加者が感じた印象を自由に話し合う会です。「教養」をつけることは大事ですが、それを超えた「自分にとっての大事な本」になること、あるいは見つけることがビジョンです。

これまでに取り組んだ作品一例：プラトン『饗宴』ゲーテ『若きヴェルテルの悩み』宮沢賢治『セロ弾きのゴーシュ』(他)丸山眞男『日本の思想』太宰治『魚服記』(他)ベンヤミン『複製技術時代の芸術作品』ハイデガー『芸術作品の根源』など

映画会 (月1回)

2017年6月より毎月一度開催しています。舎生がみんなで観たい映画をピックアップし、プロジェクターと大きなスピーカーを用いて楽しむ会です。舎生が普段の生活では感じることの出来ない感動を共有出来る場の創出を目指しています。

これまでに観た映画一例：『KT』『攻殻機動隊』『ソナチネ』『ブレードランナー』『ベルリン 天使の詩』『愛、アムール』『かぐや姫の物語』『レオン』『檜山節考』『アキラ』『シカゴ』など

菜園 (不定期)

信愛学舎敷地内の一面を利用し、ジャガイモやトマトなどの栽培を行っています。東京で生命と自然を体感できる数少ないスポットになっています。採れた野菜は舎生が自由に使って調理することができます。

これまでに育てた野菜一例：トマト、ジャガイモ、ピーマン、シシトウ、ナス、モロヘイヤ、バジル、パプリカ、ローズマリーなど

スポーツ交流会 (不定期)

近隣の寮である友愛学舎・山手学舎と体を動かし、交流する会を2020年11月から始めました。フットサル、キックベース、ドッジボール、ドッジビー、アルチメットフリスビー(風)を行いました。今後も定期的に行う予定です。

Python勉強会 (週1)

Pythonというプログラミング言語を学ぶ会を、毎週土曜日の18-19時に行っています。Pythonの基礎から学び、最近ではデータの簡単な管理・処理(分析)の機能を勉強しています。

4. 施設・設備

建物：鉄筋コンクリート3階建（1988年竣工）の2階～3階

部屋：全員個室（洋室6畳）2階～3階（男女別フロア）

2013年にリニューアル済

設備：Wi-Fi（利用料は設備費に含まれます）

共用施設：風呂、トイレ、キッチン（ガス）、電子レンジ、炊飯器、テレビ、洗濯機

5. 料金

舎費：35,000円/月

共益費：1,000円/月

加盟費：3,000円/年（YMCA会費，同盟，早大Y）

入寮費：100,000円（入舎時のみ）

エアコン引き継ぎ費：20,000円（入舎時希望者のみ）

朝食費：1食100円（学期期間中の平日のみ）

電気代：各部屋の電力使用量に応じる（3カ月に1回徴収）

- ・以上は2021年度のものであり、次年度以降改訂されることがあります。
- ・消費税を含まない金額です。

6. アクセス

〒169-0051

東京都新宿区西早稲田 2丁目5の2 信愛学舎

- 東京メトロ 東西線 早稲田駅より徒歩 7分
- 東京メトロ 副都心線 西早稲田駅より徒歩 15分
- JR 山手線 高田馬場駅より徒歩 20分

7. 募集及び応募概要

● 2022年度募集要項

入寮条件	次の5項目が入舎のために同意必要事項であり、面接の初めに信愛学舎学生幹事より同意の確認させていただきます。
	<input type="checkbox"/> 1. 信愛活動は学業の次に優先させる。
	<input type="checkbox"/> 2. 早大YMCA会員として信愛学舎に入寮する。
	<input type="checkbox"/> 3. 舎生は信愛学舎で原則4年間(卒業まで)在舎する。
	<input type="checkbox"/> 4. 信愛学舎学生幹事を1年間担う。
	<input type="checkbox"/> 5. 学期期間中の長期留学は入舎前に意思表示をする。
応募資格	4年制大学(通学が1時間以内程度)の学部に入學予定の新1、または在学中の新2年生 ※定員に達し次第募集を終了いたします。
募集人数	早稲田大学学部生 3名(女性1名、男性2名)
選考方法	履歴書とエントリーシートを提出 見学を経た後、面接
出願期間	面接日の2日前正午まで
面接日	日付:2022年5月11日(水)、5月18日(水) 時間:18時~19時
結果発表	合否によらず面接終了後数日以内に本人宛に連絡します。

● 2022年度入舎選考

入舎希望者は、下記にあるいずれかの問い合わせ先に連絡し、履歴書とエントリーシートの提出を面接日2日前の正午までにお願ひします。

また、基本的には面接日より前に見学に来ていただくことをお願ひしております。

面接には履歴書とエントリーシートのコピー及び本募集要項をお持ち下さい。

1. エントリーシート・履歴書:両方記入し、提出をお願いします。
2. 面接:舎生全員・理事(寮OBなど)により、入舎希望者1名ずつに30分~1時間程度の面接をいたします。

*面接時間は応募のご申し込み確認後、お知らせいたします。ご希望時間帯があれば、お申し込みの際にお知らせください。原則お申込み先着順でのご案内になりますので、必ずしもご希望に添えない場合もございます。

*今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響によりオンラインによる見学・面接も可とします。お申し込みの際にご相談ください。

8. 入舎手続き

- 入舎決定の際は本人の誓約書および保証人（同居家族 1 名及び他 1 名）の確認書の提出が必要となります。
- 入舎日につきましては、希望日をお聞きした上で調整させていただきます。

9. 書類送付先及びお問合せ

ご不明な点がございましたらお気軽にお問い合わせください。

- 早稲田大学YMC A信愛学舎

住所：〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-5-2

電話：03-3203-2858

Email: dorm@waseda-ymca.org